

令和4年度事業

教 育 に 関 す る 事 務 の 管 理 及 び
執 行 状 況 の 点 検 ・ 評 価 報 告 書

令 和 5 年 1 0 月

隠岐の島町教育委員会

1. 点検・評価の趣旨等について

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項に基づき、教育委員会の権限に属する令和4年度の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表するところです。

(2) 点検・評価の対象

今回の点検・評価は、令和4年度の教育委員会の活動状況及び教育委員会の主要な事業に係るものです。

(3) 点検・評価の方法

教育委員会の活動状況及び教育行政に係る主要な事業について、所管する課及び公民館等が点検・評価を行うとともに、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、隠岐の島町教育委員会事務評価委員会の評価を踏まえ、総合的に点検・評価した報告書を作成しました。

○ 隠岐の島町教育委員会事務評価委員会

委員長 名越 玲子
副委員長 齋藤 尚文
委員 小川 静香
委員 金田 洋二郎
委員 木村 芳宣

○ 事務評価委員会の開催状況

令和5年 8月 2日
令和5年 8月 23日
令和5年 9月 4日

2. 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の会議の開催状況

令和4年 4月 27日 定例会

学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について

隠岐の島町社会教育委員の委嘱について

隠岐の島町公民館運営審議会委員の委嘱について

隠岐の島町立隠岐の島町図書館運営委員会委員の委嘱について

隠岐の島町スポーツ推進審議会委員の任命について

隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

西郷中学校法面災害防除工事の計画について

令和4年 5月 25日 定例会

隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

隠岐の島町屋内温水プールチラー更新工事の計画について

隠岐の島町立五箇生涯学習センター空調設備改修工事の計画について

令和4年度教育行政の方針について

令和4年 6月 27日 定例会

令和3年度隠岐の島町一般会計繰越明許費繰越計算書について
令和3年度隠岐の島町一般会計補正予算（第9号）に関する意見について
令和4年度隠岐の島町一般会計補正予算（第1号）に関する意見について
佐々木家住宅保存修理工事請負変更契約の締結に関する意見について
隠岐の島町文化芸術振興事業補助金交付要綱の制定について
隠岐の島町立小中学校トイレ洋式化工事の計画について
隠岐の島町図書館空調設備更新工事の計画について

令和4年 7月26日 定例会

令和4年度隠岐の島町一般会計補正予算（第2号）について
隠岐の島町立小中学校空調設備整備工事の計画について

令和4年 8月30日 定例会

隠岐の島町突き牛本土輸送事業補助金交付要綱の全部改正について
令和4年度隠岐の島町一般会計補正予算（第3号）について
五箇中学校受電設備更新・特別教室空調設備整備工事請負契約の締結に関する意見について

令和4年 9月28日 定例会

（審議事項なし）

令和4年10月28日 定例会

令和3年度事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について
隠岐の島町立西郷小学校非常勤講師配置要綱の制定について

令和4年11月28日 定例会

令和4年度隠岐の島町一般会計補正予算（第5号）について
隠岐の島町学校管理規則の一部改正について

令和4年12月22日 定例会

学習者用・指導者用タブレット端末購入契約の締結に関する意見について

令和5年 1月30日 定例会

隠岐の島町教育委員会教育長職務代理者の指名について

令和5年 2月 7日 臨時会

県費負担教職員の人事の内申について

令和5年 2月21日 定例会

令和4年度隠岐の島町一般会計補正予算（第7号）について
令和5年度隠岐の島町一般会計当初予算について
隠岐の島町社会教育基本計画について

令和5年 3月24日 定例会

教育財産〔スクールバス〕の取得の申出について
隠岐の島町立中学校受電設備・特別教室空調整備工事の計画について
隠岐の島町立学校の学校医、学校歯科医の解嘱について

隠岐の島町立学校の学校医、学校歯科医の委嘱について
隠岐の島町教育委員会事務評価委員会委員の委嘱について

(2) 総合教育会議の開催状況

令和5年 2月 7日

小中学校規模適正化（北小学校）について

(3) 教育委員会の会議以外の活動状況

令和4年10月28日

有木小学校訪問

学校経営方針説明及び意見交換、ICT活用授業参観

3. 教育委員会の主要な事業の点検・評価

所管する課及び公民館等が選定した教育委員会の以下の事業について、点検・評価を行いました。

番号	事業名	予算科目	担 当
1	学校図書充実事業	教育指導費	総務学校教育課
2	英語指導事業	教育指導費	総務学校教育課
3	特別支援教育事業	教育指導費	総務学校教育課
4	高校魅力化事業	教育指導費	総務学校教育課
5	魅力ある教育推進事業	教育指導費	総務学校教育課
6	タブレット端末整備事業	教育指導費	総務学校教育課
7	離島留学学生寮整備事業	教育指導費	総務学校教育課
8	小学校教材整備等教育振興事業	小学校費 教育指導費	総務学校教育課
9	小学校空調整備事業	小学校費 学校管理費	総務学校教育課
10	中学校教材整備等教育振興事業	中学校費 教育指導費	総務学校教育課
11	中学校空調整備事業	中学校費 学校管理費	総務学校教育課
12	学校給食調理事業	学校給食費	学校給食センター
13	隠岐の島町社会教育施設長寿命化計画策定事業	社会教育総務費	社会教育課
14	がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業	社会教育総務費	社会教育課
15	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業	社会教育総務費	社会教育課
16	隠岐島文化会館管理運営事業	社会教育施設費	社会教育課
17	保健体育活動補助事業	保健体育総務費	社会教育課
18	総合運動公園管理運営事業	体育施設費	社会教育課
19	温水プール管理運営事業	体育施設費	社会教育課
20	図書館管理運営事業	社会教育施設費	社会教育課
21	文化財保存継承事業	文化財保護費	社会教育課
22	佐々木家住宅管理運営事業	文化財保護費	社会教育課
23	公民館活動振興事業 中央公民館	公民館費	中央公民館
24	公民館活動振興事業 布施公民館	公民館費	中央公民館
25	公民館活動振興事業 五箇公民館	公民館費	中央公民館
26	公民館活動振興事業 都万公民館	公民館費	中央公民館

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 1
事業名	学校図書充実事業					総務学校教育課	
予算額	26,946	決算額	26,702	財 源 内 訳			
				特定財源	11,686	一般財源	15,016
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 学校図書館の「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能を充実させ、児童生徒の豊かな心を育むための読書活動の推進と、学ぶ力に繋がる情報活用能力の育成を図ります。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ● 学校司書雇用費（11校） 23,017 千円 ● 図書・備品購入費 2,562 千円 ● 総合百科事典更新（小学校） 1,056 千円 ● 活動費 67 千円   (総合百科事典展示風景) (おすすめ図書展示風景) 【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 学校司書の全校配置を継続しています。図書館に学校司書がいることで子どもたちの居場所として大きな役割を果たしています。これまで、西郷小学校を除く小学校では配置時間が1日5時間でしたが、担任や司書教諭との情報共有や、図書館活用授業の打ち合わせの時間を確保出来るよう、最長7時間に拡充しました。また、学校司書の資質向上をめざし、定期的に連絡会を開催し、研修及び情報交換を行っています。 学校司書が選書についてアドバイスしたり、社会状況の変化や学問の進展により正確性や利用価値が低下した図書を廃棄したり等、図書館資料を適切に整備しています。総合百科事典『ポプラディア』の改訂があったため、子どもたちが正しい情報を入手、利活用できるよう全小学校で更新しました。また、教科書の単元に沿ったテーマの関連本をそろえることで、より深い学習につなげることができました。 読売新聞社が実施した令和4年度図書購入予算についての標本調査の結果、「児童1人当たりの図書費」は本町が最多という記事が掲載されました。(*) *) 読売新聞社. “学校図書館の購入費、小学校で13倍・中学校で27倍の差...いくら使うかは自治体判断”. 読売新聞オンライン. 2022-12-26. https://www.yomiuri.co.jp/kyoiku/kyoiku/news/20221225-OYT1T50194/ (2) 今後の課題 児童生徒1人あたりの図書貸出冊数が、令和3年度よりやや減少しました。学校内だけでなく、隠岐の島町図書館等の関係機関との連携を強化し、読書活動推進の取組を進めていく必要があります。 タブレット端末の活用が進んできており、学校図書館の活用頻度が減少する恐れがあります。調べ学習等での情報収集の際に、紙かインターネット検索かの二者択一に陥らず、状況に応じて適正な情報メディアを選択できるよう、児童生徒の情報活用能力を育成する必要があります。そのためには、担任・司書教諭・学校司書と連携し、学校図書館資料を有効活用するよう取組を推進することが重要です。また、紙媒体の資料についても、図書のみではなく、新聞をはじめとした多様な資料を配備していくことが求められています。 学校司書の意欲や専門性を高めるため、継続的な雇用について検討する必要があります。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No.	1
事業名		学校図書充実事業					総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】								
(1) 評価の概要								
○ 学校司書を全校に配置することで学校図書館機能を充実させ、子どもたちの読書力や学力向上に効果を上げている。								
○ 令和4年度の小学校児童一人あたりの図書購入費が全国1位であったことは評価でき、維持継続させ、充実することに期待する。								
○ 学校規模の大小に関わらず、児童生徒の図書の選択肢が公平となるよう、引き続き隠岐の島町図書館との連携を充実させる必要がある。								
○ 児童生徒の居場所としての活用を図っていくのであれば、担任教師・司書教諭・学校司書で各個人の情報を共有し、個々の求めるものに対応する質の高い取組になることを期待する。								
○ I C T活用が推進される中、読書力を育成する取組が重要であるが、担任教師・司書教諭・学校司書だけの取組では限界があり、学校全体で取り組む必要があるものとする。								
○ 一方で文章を読むことについては、今や「電子データ」か「紙」かという時代ではなくなっても来ており、今後の課題として認識しておく必要がある。								
○ 読書の重要性を教育していく学校司書の意欲や専門性を高めるために、正規職員としての雇用など働きやすい環境づくりについて検討を要する。								
【5. 教育委員会の意見 ※】								
○ タブレット端末の導入、I C Tの更なる普及もあり、活字離れが懸念される中、学校司書の全校配置と研修によって、子ども達にとって図書室と本が身近なものとなり、居場所としての利用が増加していることは大いに評価できる。								
○ どの学校を訪れても、魅力的な図書館の経営がなされていることが見受けられ、評価する。								
○ 引き続き町立図書館との連携の強化を図り、子ども達の読書環境の充実や本に触れる機会の創出、読書指導の充実などの推進に期待する。								
○ 読書推進の取組は、関係機関との連携強化も必要ではあるが、児童生徒自身による主体的な取組を仕組むことが大きな効果を生みやすい。児童会や生徒会の「図書委員会」「学習委員会」など図書室との関係を持つ委員会が目標を立て、学級づくりの一環である学級の取組と連携させて実行していき、児童生徒自身が取組状況を点検・評価していき、この活動を教師が支援していく必要がある。								
○ 創造性を育むための読書の重要性をどう推進するのか、更なる工夫が必要になるのではないかと考える。								

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 2
事業名	英語指導事業					総務学校教育課	
予算額	12,679	決算額	11,767	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	11,767
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 外国語指導助手（A L T）を各小・中学校へ派遣し、児童生徒の外国語教育充実と国際理解の推進を図ります。 また、英会話教室や保育所訪問等の、地域における国際交流活動への協力を行うことで住民の国際理解を深めていきます。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ● A L T雇用費 3名 9,310 千円 ● A L T小中学校派遣経費（移動交通費） 2,457 千円							
 (A L T授業風景)							
【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 1名退職し、新たに3名が着任し、2年ぶりにA L T 3名体制となりました。A L Tが授業に参加することで子どもたちが生きた英語を学び、自然な英会話活動を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることができました。特に小学校においては、A L Tが授業の補助に入ること、英語免許を持たない教員の負担や不安感を軽減し、円滑な授業運営が図られました。 夏季休業期間中には、希望のあった保育所に1回ずつ訪問し、幼児に英語の歌やあそびを教え、交流しました。ある保育所では、訪問時に教えた英語の歌を発表会で披露するなど、英語に親しみを持ってもらえることが出来ました。 (2) 今後の課題 A L Tの負担軽減を図るとともに、特別支援学級で教える時間を十分確保するため、4名体制の実現に向けて引き続き検討を進めていきます。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 2
事業名		英語指導事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 離島において、外国人による生の言語に触れる機会が乏しい中、本事業の教育的効果は大きい。 ○ 言語に限らず、外国人や外国の文化に触れることができる良い機会であり、人種や国籍など多様性が分かるようなALTの構成となることに期待する。 ○ 小学校でも外国語教育が行われ、「使える」英語の力、特に「聞く」「話す」力が重視されるが、ALTを積極的に活用して、「使える」英語力の向上に努められることを期待する。 ○ 特別支援学級では、特性に合わせたスタイルで英語に触れる時間を十分に確保するため、4名体制の実現を望む。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 英語の授業に限らず、学校行事などにも参加してもらうことができると自然な形で外国語に触れる機会もできるものとする。 ○ 外国人や外国の文化に触れることができる良い機会であり、多様性を認め合うため、ALTの存在は大きく、今後の充実した事業展開に期待する。 ○ 支援の必要な児童生徒には、特性に合わせたスタイルで英語に触れる時間を確保するため、ALTの4名体制の早期実現を望む。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 3
事業名	特別支援教育事業					総務学校教育課	
予算額	27,592	決算額	27,354	財 源 内 訳			
				特定財源	57	一般財源	27,297
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 児童生徒の特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに合わせた支援を行うことで、生活や学習上の困難を改善または克服します。 また、医療・教育・保健・福祉の関係部局・関係機関と連携した相談体制を整備し、障がいのある子どもとその保護者に対し、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行います。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ●特別な支援のための支援員配置経費 24,533 千円 支援員配置（21名） ●特別支援教育コーディネーター配置経費 2,610 千円 ●事務費 211 千円 - 隠岐の島町相談支援チーム活動経費（相談件数 63件） 84 千円 - 隠岐教育支援委員会活動経費（相談件数 29件） 127 千円							
【3. 事業の成果及び課題】 （1）事業の成果 支援を必要とする児童生徒を支援員が支援することで、当該児童生徒が学級の中で安心して生活し、学習に取り組む姿勢が見られました。 支援員の配置についての評価を行うことで、当該児童生徒への適切な支援について検討する機会を設けることができました。 相談支援チームの相談活動等により、的確な実態把握や適切な支援につなげることができました。 特別支援教育コーディネーターが、保健師や隠岐養護学校と連携しながら保育所訪問等の活動を行うことで、早期の気づきや、保護者・保育士への適切な支援、指導助言を行うことができました。 隠岐教育支援委員会の就学相談活動等により、様々な就学についての指導助言を行うことができました。 （2）今後の課題 相談支援チームや隠岐教育支援委員会への相談件数は年々増えており、保護者や教職員の特別支援教育への理解関心の深まりが見られますが、これに対応するスタッフの人数は限られており、対応に苦慮しています。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 3
事業名		特別支援教育事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 支援員を配置していることにより、当該児童生徒の実情に応じた支援指導が充実しており評価できる。 ○ 支援員の確保に努めるとともに、資質向上のための研修が充実することに期待する。 ○ 配置した支援員や支援を受ける児童生徒の成長の程度などの評価を毎年行い、支援員の配置の必要性を検証しており、引き続き効率的な運営を期待する。 ○ 効果を上げるために、支援員の研修も必要ではあるが、担任教師と支援員の連携強化について、担任教師が研修をしていくことも必要と考える。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 支援員の存在はとても重要であり、そのためにも支援員それぞれの研修の充実が必要と考える。また担任教師との連携、担任教師の指導力も必要になると考える。 ○ 支援員の配置が進むだけでなく、適切な支援が行われているかの評価の機会が作られたことは評価できる。適切な支援につながるよう、綿密な打合わせや研修が充実していくことを望む。 ○ 相談支援チームや隠岐教育支援委員会への相談件数が年々増えており、対応に苦慮しているとのことであり、人員確保が課題と考える。 ○ 相談件数の増加への対応について、保健福祉課と連携し、手をつなぐ育成会をはじめ、各施設の職員や保護者等に援助を求めることは可能と考える。ただし、近年では、子どもの障害について相談しようとしにくい保護者がいる事例もあることから、保健福祉課などと連携して解決策を練っていくことが肝要とも考える。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 4
事業名	高校魅力化事業					総務学校教育課	
予算額	24, 877	決算額	23, 637	財 源 内 訳			
				特定財源	20, 985	一般財源	2, 652
【1. 事業の目的】(単位：千円) 少子高齢化、人口減少が進む中、町内の県立高校の存続が本町の人口維持に大きな影響を与えるのは言うまでもなく喫緊の課題です。そのために、学校と地域が連携及び協働した高校の魅力化推進を支援するなど、高校の魅力を高め県外留学生を含め、生徒確保を推進していきます。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●高校魅力化コーディネーター配置経費				7, 744 千円			
コーディネーター 3名				7, 434 千円			
事務費（研修費、学習会他）				310 千円			
●県立高等学校魅力化事業補助金				15, 893 千円			
オープンスクール参加宿泊費補助（生徒91名、保護者85名）				1, 456 千円			
学習支援補助（Classi利用料 199名）				500 千円			
高校寮費等助成事業（対象者82名）				7, 608 千円			
部活動遠征費補助（2, 690円×153名）				412 千円			
研修旅行助成事業（隠岐高校、隠岐水産高校）				3, 465 千円			
高校生の地域留学（365留学生 3名）				2, 452 千円			
◇隠岐高校オープンスクール		◇隠岐高校関西研修旅行		◇隠岐高校365留学生島親募集説明会			
							
◇隠岐水産高校オープンスクール							
							
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果 各県立学校に1名ずつのコーディネーターを配置することにより、地域との協働及び各校連携による魅力化を図りました。また、学習支援補助や部活動遠征費補助等により保護者の負担軽減を図るとともに、寮費助成、オープンスクール参加費の補助による町外生徒の確保に努め、隠岐高校20名、水産高校91名の町外生の受入れに寄与しています。なお、令和4年度は3名の地域みらい留学365生の受け入れを行い、地域の連携・協力体制の中で高校の魅力化及び高校を軸とした地域活性化に寄与しました。							
(2) 今後の課題 町内小中学校の児童生徒が減少している中、隠岐高校、隠岐水産高校の生徒数も大きな増加は見込めない状況にあります。島内・島外からの入学者を確保するためにも、コーディネーターが、配置された学校の垣根を超えて連携し、魅力を高めるための活動を実施していくことが求められています。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 4
事業名		高校魅力化事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 地域との協働を図ることは県立学校の教員だけでは大変難しく、高校魅力化コーディネーターが配置されていることは学校にとっては有意義な事業であると評価できる。 ○ 地域に愛される学校を作っていくためには、行事などを通じて学校や生徒が地域に溶け込んでいくことが重要であり、そのために高校魅力化コーディネーターが積極的に活動されることを期待する。 ○ Uターンなどの定住対策のためには、町内の中学生が通いたい、中学生を通わせたいというような町民にとって魅力的な学校となる必要があり、そのための取組をもっと展開すべきではないか検討を要する。 ○ 隠岐水産高校や隠岐高校商業科と違い、隠岐高校普通科は何を町内外にアピールするべきか、今一度、関係者による協議の必要性を感じる。 ○ 町外からの入学生が多いことを町内の方にあまり周知されていないように感じる。取組や効果を上手く町内外に周知することが今後高校を選択する中学生や保護者へのPRになると考える。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 高校の魅力化事業として目指すことを整理する必要があるが、最終的には本町で暮らしていこうとする生徒を育成することを目的としなければならないものと考える。 ○ 各学校の特徴や魅力が明確化・差別化され、発信されることを期待する。 ○ コーディネーターの活動の成果を短期で判断するのは困難であり、日々の情報収集や情報発信、町内外での地道なアピール活動がいつか実を結ぶことを信じ、精力的な活動に期待する。 ○ 町と高校が一体となり、この島のスケール感を生かし、町内県立学校3校との連携、進路指導や学習支援の機会や場の創出、町外生の受け入れ、島前高校と連携するなどの高校教育が展開されることを期待する。 ○ コーディネーターが本町の歴史・文化・自然に、ある程度精通できれば、活動に厚み加わるものと考えられ、そのための研修が実施されることを望む。 ○ 町外からの生徒誘致と並行して、町外へ流出する生徒が増加する傾向について目を向け一考したい。町内の生徒・保護者に対して、各校の魅力の発信を重ねてほしい。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 5
事業名	魅力ある教育推進事業					総務学校教育課	
予算額	43,383	決算額	38,558	財 源 内 訳			
				特定財源	16,121	一般財源	22,437
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 児童数減少による複式学級の対応として、非常勤講師を配置し、教育の質の向上を目指します。 ふるさと教育・キャリア教育推進のための移動交通費の支援を行います。 中学校の各種大会参加に係る経費の補助、小中学校の修学旅行費の補助により、児童・生徒の活発な学習活動を支援し保護者の負担軽減を図ります。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ●複式教育推進事業 12,644 千円 非常勤講師配置経費（4名） ●ふるさと・キャリア教育推進に係る移動交通費 944 千円 ●中学校各種大会参加費補助 15,634 千円 ●修学旅行費補助 9,336 千円 - 小学校 修学旅行費 児童 2,972 千円 - 小学校 修学旅行費 引率 213 千円 - 中学校 修学旅行費 生徒 5,616 千円 - 中学校 修学旅行費 引率 535 千円   （修学旅行風景）							
【3. 事業の成果及び課題】 （1）事業の成果 複式教育推進事業では、複式学級を編成する学校に非常勤講師を1名ずつ配置することにより、複式学級の授業の充実と児童の学力の向上に貢献することができました。 積極的に校外学習を実施できるよう、学校からの移動交通費を支援し、地域資源を活用した教育の推進や、講演会等の参加による児童生徒のキャリア観育成を図りました。 中学校各種大会参加費や修学旅行費の補助により、保護者の負担軽減が図られました。 （2）今後の課題 複式教育推進事業においては、全国的な教職員不足による安定的な人材確保が今後も課題です。 修学旅行費の補助においては、児童生徒数が少ないほど貸切バス費用の個人負担部分が多くなってしまいうため、負担額軽減の対応を検討する必要があります。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 5
事業名		魅力ある教育推進事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 複式学級を編成する学校に非常勤講師を配置することで複式授業の充実と学力向上を図られ、評価できる。また、学校に一人でも多くの大人がいることで活動の幅が増えているものと思われる。 ○ 複式学級の場合、上級生が下級生に「教える」ことで得ることができる成長もあるが、非常勤講師を配置することでその効果が無くなることも懸念され、検証することも必要と思われる。 ○ 複式教育推進事業の課題である人材確保については、教員退職者の再雇用を積極的に取り組んでほしい。 ○ 中学校各種大会参加費補助の成果としては、保護者の負担軽減よりも生徒が費用の心配なく、各種大会に中学生が参加できることになっていることが、教育効果が大きく評価できる。 ○ 中学校体育連盟の大会にクラブチームが出場できることになっており、旅費の補助について検討を要する。 ○ 修学旅行費補助の課題である児童生徒の少ない学校の貸切バス費用の個人負担が多くなることについては、引き続き負担額軽減策について検討を要する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 複式学級を編成する学校にとって、非常勤講師を配置することは複式授業の充実と学力向上が図られるなど非常に大きな意味を持つため、人材の確保と配置の継続を望む。 ○ 上記の一方で、複式教育の充実には、非常勤講師の配置も効果が上がるものと考えられるが、本来、教師の教育的力量を高める複式教育という視点を重要視した上での施策を行うべきとも考える。 ○ 教育委員会は、各学校における学習のための地域講師のリストを作成し、ふるさと学習、ひいては地域に開かれた学校に寄与するべきと考える。 ○ 経済的な保護者の負担軽減については教育の機会均等の上でも充実していく必要がある。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 6
事業名	タブレット端末整備事業					総務学校教育課	
予算額	52,787	決算額	50,085	財 源 内 訳			
				特定財源	652	一般財源	49,433
【1. 事業の目的】 (単位：千円)							
ICT機器を有効活用した主体的で個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、タブレット端末を整備します。また、学習アプリの有効活用を図るため、タブレットペンを整備します。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
● タブレット端末整備 530台 43,117 千円 (小学1年生～小学4年生及び指導者分)							
● タブレットペン整備 653本 6,968 千円 (小学5年生～中学3年生及び指導者分)							
							
タブレット端末 (iPad)				タブレットペン (ロジクール)			
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
令和4年度の端末整備により、全ての小中学校が1人1台端末の環境となりました。また、アプリの有効活用を図るため小学校高学年以上の児童生徒へタブレットペンを整備しました。							
体育でカメラを活用して自分の動きを確認したり、学習支援ツールを活用することでICT教育利活用の向上が図られました。また、アプリケーションと組み合わせることで課題・教材の配布や成果物の提出を瞬時に行えたり、ICTの利点を生かした授業づくりに寄与しました。							
(2) 今後の課題							
タブレット端末の活用状況については学校間で差があります。操作方法等に不安がある教員がICT機器を有効活用できるよう、教職員の活用技術の向上のために研修機会を充実させる必要があります。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 6
事業名		タブレット端末整備事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ タブレット端末を全ての小中学校に1人1台ずつ整備できたことは、子どもたちのICT教育の充実に効果的であった。 ○ 非常に高価な端末を使用するだけに、先生方の苦労もあると思うが、今後の有効活用に期待する。 ○ 学校や教職員によって活用技術や方法に格差があるとのことであり、研究・研修を重ね、町全体で活用方法を標準化するなど、活用技術の向上を町全体で図る必要がある。 ○ 特別支援学級では、個人に応じたアプリケーションを使用するなど、導入したことで教育方法の可能性が広がったことは効果として評価できる。 ○ デジタル教科書の導入についても研究を進める必要がある。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ ICT機器を活用した授業において、苦手な児童生徒をフォローし、全員が一定レベルで理解しながら授業が進められることを望む。 ○ 今後利用が進む中で、端末の扱い方やソフトの更新など、問題点や配慮が必要なことなどの情報共有を図りながら、より良い活用方法を探る必要がある。 ○ 教科書のデジタルコンテンツが増えていく中、タブレット整備が進んだことで、授業の中でタイミングよく効果的に活用されることを期待する。 ○ 学校や教職員によって活用技術や方法に格差が出ないように、活用技術の向上のための研修の充実を望む。 ○ タブレット端末はあくまでも学習のための道具であり、これを効果的に活用する研修が当然必要ではあるが、わかる授業づくりの基盤を固めることを念頭に置く必要がある。 ○ 授業づくりと学級づくりは教育の両輪であるから、本町の教育委員会独自で、学級づくりの研修会を開催することを強く望む。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 7
事業名		離島留学学生寮整備事業					総務学校教育課
予算額	38,306	決算額	24,560	財 源 内 訳			
				特定財源	24,560	一般財源	0
【1. 事業の目的】 (単位：千円)							
町外からの入学希望者が増加傾向の隠岐水産高校について、既存の寄宿舍に加え離島留学学生寮を整備することにより町外からの受入を拡大させ、同高校の存続による「未来の海のスペシャリスト」が育つ魅力ある教育環境づくりを支援するとともに定住人口の確保と関係人口の創出を図ります。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
● 離島留学学生寮整備事業				12,856 千円			
離島留学学生寮の設計業務に着手し、基本方針を定め、基本設計を策定するとともに建設予定地の地質調査を完了しました。							
基本・実施設計委託業務				7,293 千円(その他、7,007千円を次年度に繰越)			
地質調査委託業務				5,494 千円			
技術支援委託業務				0 千円(6,027千円を次年度に繰越)			
事務費				69 千円			
【規模・仕様等（案）】							
建設予定地	隠岐水産高校敷地内(テニスコート横)						
構 造	木造瓦葺き2階建て						
床 面 積	(1F) 441.02㎡+(2F) 289.45㎡=730.47㎡						
間 取	舎室(15)・舎監室・洗面洗濯室・乾燥室 食堂・厨房・浴室・脱衣室・トイレなど						
外 部 仕 上	〔屋根〕 瓦 〔外壁〕 サイディング・杉板など						
内 部 仕 上	〔床〕 フローリング・ビニルシートなど 〔壁〕 ビニルクロス・杉板など						
収 容 人 数	30人						
							
● 離島留学生共同下宿整備事業				11,704 千円			
学生寮供用開始までの間は本町観光宿泊施設を活用した離島留学生共同下宿施設を運営することとし、そのための施設改修、備品購入等を行い、令和5年4月から供用を開始しています。							
施設改修工事				9,864 千円			
(食堂・厨房・自転車庫等)							
備品購入				1,436 千円			
(洗濯機・乾燥機・ベッド等)							
机・椅子・収納庫リース				360 千円			
その他消耗品購入				44 千円			
							
施設改修工事（厨房）				供用開始後の食堂の状況			
(1) 事業の成果							
令和6年10月の竣工を目指し、設計業務、地質調査業務を委託事業により行いました。設計業務においては、基本方針を定め、基本設計を策定することが出来ました。また、離島留学生共同下宿整備事業により、既存の県有寄宿舍で受け入れている生徒以外の16人を共同下宿施設で受け入れることが出来ました。							
(2) 今後の課題							
隠岐水産高校において、令和5年4月現在で町外の中学校出身の生徒は91人であり、既存の県有寄宿舍で受け入れている生徒以外の16人は本町観光宿泊施設を活用した離島留学生共同下宿施設で受け入れている状況にあり、早急な事業展開が求められています。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 1	教育管理費	目 2	教育指導費	所管課	No. 7
事業名		離島留学学生寮整備事業					総務学校教育課
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 町外からの入学生を誘致する取組をしている以上、留学生の住環境を整備することは必須であり、円滑な事業推進に期待する。 ○ 今後の隠岐高校の取組と成果によっては、隠岐高校を対象とした寄宿舍の整備も検討する必要がある。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 事務評価委員会と同意見							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 8
事業名	小学校教材整備等教育振興事業					総務学校教育課	
予算額	9,689	決算額	8,055	財 源 内 訳			
				特定財源	424	一般財源	7,631
【1. 事業の目的】(単位：千円)							
町立小学校7校の教育振興のために必要な教材等を購入し、各校の実情に即した教育環境を整えます。 いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るとともに、学校生活への満足度を高める教育を推進します。 経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減を図ります。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●教材等整備費 3,484 千円							
教育用教材 2,563 千円							
教育用指導書 514 千円							
その他備品等 407 千円							
●いじめ対応支援事業 277 千円							
アンケート検査用紙の購入							
●就学援助費・特別支援教育就学奨励費 4,294 千円							
就学援助費 4,147 千円							
特別支援教育就学奨励費 147 千円							
 							
体育教材（ロイター板）音楽教材（アコーディオン）							
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
小学校教育に必要な教材等の整備により、授業の充実と子どもの学力向上に資することができました。 児童にアンケート調査を実施し、個人・学級集団の状態を把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止が図られました。 経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減が図られました。							
(2) 今後の課題							
今後、デジタル教科書の導入が増えることが考えられます。研修等により効果的な利用方法及び教職員のスキル向上を図る必要があります。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 8
事業名		小学校教材整備等教育振興事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 昨今の物価高騰により教材購入費の高騰も懸念されるが、教育を振興するためには重要であり、学校からの要望になるべく応えられることを望む。 ○ いじめのアンケートは、いじめや不登校などの問題を解決するため、その原因を究明をするうえで有効的であり、それに取り組んでいることを評価する。 ○ また、いじめのアンケートの結果分析を専門業者に任せるばかりではなく、いじめや不登校の解決や未然防止のために、調査後即時に教員が分析するなど、適切な対応を行っており評価する。 ○ 教育指導事業（スクールカウンセラー）、教育支援センター事業と連動し、いじめや不登校を減らし、児童生徒が学校に行きたくなるような取組の強化を望む。 ○ 就学援助については、引き続き民生児童委員との連携を密にして必要な家庭を援助する対応に努めてほしい。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ いじめの早期発見、未然防止のためにいじめのアンケートが役立っていることは好ましい。本来、このアンケートは、教師が日頃行う学級づくり（学級経営）の充実が、そのことによりいじめやそれに起因する不登校の未然防止に繋がっているかどうかを検証するものであることを望む。 ○ 上記のために学級づくり（学級経営）の理念や具体的な方法についての研修が先だって必要である。文部科学省や島根県教育委員会の施策を待つことなく、本町独自で実施することが、まちづくりの基本にも応えるものとする。 ○ いじめ対策については児童、保護者、教員が各々安心して相談できる場の確保が大切であると考え。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 1	学校管理費	所管課	No. 9
事業名		小学校空調整備事業				総務学校教育課	
予算額	54,000	決算額	53,955	財 源 内 訳			
				特定財源	53,869	一般財源	86
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 町内小学校（7校）の普通教室のすべて、特別教室のほとんどで空調整備はされているが、一部未実施となっている西郷小学校・北小学校の空調整備を行い、快適な教育環境の整備を図ります。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ● 小学校空調整備費 53,955千円 小学校施設の空調整備が主な内容です。 - 西郷小学校空調整備工事 49,720千円 - 北小学校空調整備工事 4,235千円 ◇ 西郷小学校空調整備 - 受電設備（キュービクル） - 空調設備（エアコン）   ◇ 北小学校空調整備 							
【3. 事業の成果及び課題】 （1）事業の成果 夏季において、学校の教室は30℃以上になることが多く、学習環境としては十分でない状況にあります。温暖化傾向であることから熱中症対策のための冷房機を設置をすることで、児童の安全確保及び快適な学習環境の改善を図ることができました。 （2）今後の課題 空調設備は全ての教室で整備が終わり、今後は職員室・図書室等で耐用年数を経過した空調設備の更新を計画的に進める必要があります。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 2	小学校費	目 1	学校管理費	所管課	No.	9
事業名		小学校空調整備事業					総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】								
(1) 評価の概要								
○ 温暖化傾向にあり、熱中症対策のために冷房機が整備されたことは、児童の安全確保、快適な学習環境の整備に十分な効果があり評価する。								
○ 西郷小学校のランチルームは、会議や運動など多目的に利用されており、利用頻度も高く、空調設備が整備されたことは高く評価できる。								
○ 夏季においては高温により体育館での運動が出来ない日が多くなっている状況にあり、また、避難所機能の強化の観点からも体育館の空調整備について検討を要する。								
【5. 教育委員会の意見 ※】								
○ 安心安全に学べる環境の整備は急務であって、空調整備を迅速に対応し、児童の諸活動に寄与しており評価する。								
○ 夏季から秋季にかけての体育館での授業や活動を考慮し、体育館への空調設備の導入について検討を要する。								
○ 空調設備に限らず、今後も学習環境の整備を常にきめ細かく点検し、充実していく必要がある。								

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 10
事業名	中学校教材整備等教育振興事業					総務学校教育課	
予算額	11,096	決算額	6,888	財 源 内 訳			
				特定財源	394	一般財源	6,494
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 町立中学校4校の教育振興のために必要な教材等を購入し、各校の実情に即した教育環境を整えます。 いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見や早期対応及び未然防止を図るとともに、学校生活への満足度を高める教育を推進します。 経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、医療費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減を図ります。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●教材等整備費				2,020 千円			
教育用教材				1,640 千円			
その他備品等				380 千円			
●いじめ対応支援事業				209 千円			
アンケート検査用紙の購入							
●就学援助費・特別支援教育就学奨励費				4,659 千円			
就学援助費				4,534 千円			
特別支援教育就学奨励費				125 千円			
							
技術教材（工具セット）				音楽教材（サクソ）			
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果 中学校教育に必要な教材等の整備により、授業の充実と子どもの学力向上に資することができました。 生徒にアンケート調査を実施し、個人・学級集団の状態を把握、分析することにより、いじめ等生徒指導上の諸課題の早期発見、未然防止が図られました。 経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し、学用品費、給食費、修学旅行費の援助を行い保護者の負担軽減が図られました。							
(2) 今後の課題 今後、デジタル教科書の導入が増えることが考えられます。研修等により効果的な利用方法及び教職員のスキル向上を図る必要があります。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 2	教育振興費	所管課	No. 10
事業名		中学校教材整備等教育振興事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 昨今の物価高騰により教材購入費の高騰も懸念されるが、教育を振興するためには重要であり、学校からの要望になるべく応えられることを望む。 ○ 小学校に比べて中学校の教材は、高額のものが多いことが想定されるので、対応できるよう期待する。 ○ いじめのアンケートは、いじめや不登校などの問題を解決するため、その原因を究明をするうえで有効的であり、それに取り組んでいることを評価する。 ○ また、いじめのアンケートの結果分析を専門業者に任せるばかりではなく、いじめや不登校の解決や未然防止のために、調査後即時に教員が分析するなど、適切な対応を行っており評価する。 ○ 中学校におけるいじめのアンケートは、小学校に比べてより丁寧な調査、分析を行い、発達状況に応じた指導に努めてほしい。 ○ 教育指導事業（スクールカウンセラー）、教育支援センター事業と連動し、いじめや不登校を減らし、児童生徒が学校に行きたくなるような取組の強化を望む。 ○ 就学援助については、引き続き民生児童委員との連携を密にして必要な家庭を援助する対応に努めてほしい。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ いじめの早期発見、未然防止のためにいじめのアンケートが役立っていることは好ましい。本来、このアンケートは、教師が日頃行う学級づくり（学級経営）の充実が、そのことによりいじめやそれに起因する不登校の未然防止に繋がっているかどうかを検証するものであることを望む。 ○ 上記のために学級づくり（学級経営）の理念や具体的な方法についての研修が先だって必要である。文部科学省や島根県教育委員会の施策を待つことなく、本町独自で実施することが、まちづくりの基本にも応えるものとする。 ○ いじめ対策については生徒、保護者、教員が各々安心して相談できる場の確保が大切であるとする。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 1	学校管理費	所管課	No. 11
事業名	中学校空調整備事業					総務学校教育課	
予算額	116,848	決算額	116,783	財 源 内 訳			
				特定財源	116,755	一般財源	28
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 町内中学校（4校）の普通教室のすべてで空調整備はされているが、未実施となっている特別教室の整備を行い、快適な教育環境の整備を図ります。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ● 中学校空調整備費 116,783千円 中学校施設の空調整備が主な内容です。 ・ 五箇中学校空調整備工事 72,380千円 ・ 都万中学校空調整備工事 44,403千円 ◇ 五箇中学校空調整備 ・ 受電設備（キュービクル） ・ 空調設備（エアコン） ◇ 都万中学校空調整備 ・ 受電設備（キュービクル） ・ 空調設備（エアコン）							
【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 夏季において、学校の教室は30℃以上になることが多く、学習環境としては十分でない状況にあります。温暖化傾向であることから熱中症対策のための冷房機を設置をすることで、生徒の安全確保及び快適な学習環境の改善を図ることができました。 (2) 今後の課題 一部の中学校の特別教室について、空調設備が未整備の状況にあるため、早急な整備が必要です。また、その後は職員室・図書室等で耐用年数を経過した空調設備の更新を計画的に進める必要があります。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 3	中学校費	目 1	学校管理費	所管課	No. 11
事業名		中学校空調整備事業				総務学校教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 温暖化傾向にあり、熱中症対策のために冷房機が整備されたことは、児童の安全確保、快適な学習環境の整備に十分な効果があり評価する。 ○ 中学校は8月20日頃から2学期が開始されているが、空調設備により適切な学習環境が整備されており評価するとともに、令和5年度の事業についても引き続き着実な事業執行を望む。 ○ 夏季においては高温により体育館での運動が出来ない日が多くなっている状況にあり、また、避難所機能の強化の観点からも体育館の空調整備について検討を要する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 安心安全に学べる環境の整備は急務であって、空調整備を迅速に対応し、生徒の諸活動に寄与しており評価する。 ○ 夏季から秋季にかけての体育館での授業や活動を考慮し、体育館への空調設備の導入について検討を要する。 ○ 空調設備に限らず、今後も学習環境の整備を常にきめ細かく点検し、充実していく必要がある。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 3	学校給食費	所管課	No. 12
事業名	学校給食調理事業					学校給食センター	
予算額	79,698	決算額	78,996	財 源 内 訳			
				特定財源	46,130	一般財源	32,866
【1. 事業の目的】(単位：千円)							
学校給食は、成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた給食を提供することにより、健康増進と体力の向上を図りながら、健全な心身を育むために、美味しく魅力ある給食を提供します。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
【主な事業の概要（実績）】							
● 給食種別決算額：千円				● 提供人数：人／日			
主食（米・パン）7,553				小学校 7校 741			
副食（その他）58,495				中学校 4校 355			
牛乳 12,948				養護学校 1校 25			
計 78,996				給食センター 17			
				計 1,138			
● 給食提供数：食／年				● 牛乳提供数：個／年			
小学校 143,858				小学校 142,956			
中学校 68,949				中学校 69,065			
養護学校 4,090				養護学校 4,272			
給食センター 3,474				給食センター 634			
計 220,371				計 216,927			
● ふるさと給食							
地場産物を取り入れた「ふるさと給食」を月1回実施し、教材として活用しています。							
ふるさと給食のメニュー							
				地元産の米、トビウオ、かぼちゃを使用したわかめご飯、かぼちゃのみそ汁あごのさつま揚げ。			
● 地産地消の推進							
給食センターと関係機関との情報交換会議を開催し、地場産物使用を推進します。							
令和4年度地元産野菜使用率 19.90％（令和元年度 16.80％）・米使用率 100.00％							
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
児童・生徒に栄養バランスの取れた給食を提供することができました。							
地場産物を使ったふるさと給食を実施し、地産地消の推進に寄与することができました。							
隠岐産魚介類を給食に取り入れ、児童・生徒の魚食及び漁業への理解を深めることができました。							
子育て支援策として給食費公費負担を実施、保護者負担軽減に資することができました。							
(2) 今後の課題							
引き続き食材費が高騰していることから、安定した食材確保のため発注やメニューの創意工夫が重要です。地場産物使用についても、必要量が安定して確保できるよう関係機関との連携が重要です。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 5	保健体育費	目 3	学校給食費	所管課	No. 12
事業名		学校給食調理事業				学校給食センター	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 地場産物を取り入れたふるさと給食や、隠岐産魚介類を取り入れる等、食育の面からも意欲的に取り組んでおり評価できる。 ○ 地産地消の取組を引き続き推進し、地元産野菜の使用率の増加などに期待する。 ○ 毎日、メニューの説明文が作成されており、生産地や特徴などが分かりやすく、学校からの評価は高い。魅力ある給食に大きく貢献している。 ○ 衛生管理や異物混入予防について、続けて委託業者への指導を徹底すること。 ○ 給食費の一部公費負担を行っていることは、子育て世代の保護者にとって経済的な支援となり、令和4年度に行った半額助成は一時的とはいえ、保護者の負担軽減に大きく資することとなり評価できる。 ○ 児童生徒の健康増進・体力向上を図るため、本町の子どもたちの栄養状態を把握している保健福祉課の栄養士等としっかりと連携を図ってほしい。また、そのための食材づくりにも生かすことに期待する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 食材費、輸送費、燃料費など軒並み高騰している中ではあるが、保護者からの評価も高い、地場産物を取り入れたふるさと給食、ALTの出身地にちなんだメニューなど工夫された献立が提供され評価する。 ○ 地場産物を取り入れたふるさと給食が、ふるさと学習の中の「隠岐の食文化の学習」に繋がればより良いものとする。 ○ 給食費の公費負担の拡充が必要と考える。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 13
事業名	隠岐の島町社会教育施設長寿命化計画策定事業					社会教育課	
予算額	11,708	決算額	11,660	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	11,660
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 安全安心で快適な学習環境を整備し、地域住民同士が学び合い、共に活動し合う相互学習活動により、教養の向上、健康の増進等を図ることを目的としています。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ●隠岐の島町社会教育施設長寿命化計画策定事業 11,660 千円 町内の社会教育施設の内、隠岐島文化会館、隠岐の島町屋内温水プール・隠岐の島町図書館の3施設の長寿命化を図るための計画を策定しました。  [隠岐島文化会館] 建築年度：昭和59年度 延床面積：2,709.47㎡  [隠岐の島町図書館] 建築年度：平成11年度 延床面積：1,466.71㎡  [隠岐の島町屋内温水プール] 建築年度：平成6年度 延床面積：1,354.12㎡							
【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 町民の教育活動、健康づくりを推進するための基盤となる社会教育施設の長寿命化計画を策定し、施設の状況に応じた、計画的な修繕によるコストの削減と施設機能の長期的な維持管理への取組が可能となりました。 (2) 今後の課題 長寿命化計画を策定した3施設はいずれも老朽化が進んでおり、計画に従い老朽箇所の修繕を行うとともに住民ニーズを踏まえた施設の快適な利用環境の構築を図る必要があります。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 13
事業名		隠岐の島町社会教育施設長寿命化計画策定事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 本事業により、効率的な修繕・改修を行うための計画が策定されたことは評価できる。 ○ 通常の維持管理において、予想できない破損や故障に対しては、迅速・適切な対応をお願いします。 ○ 施設の快適な利用環境の構築を図るために、利用者・運営者双方のニーズを把握する方法を工夫し、的確に把握されることを期待する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 事務評価委員会と同意見							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 14
事業名	がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業					社会教育課	
予算額	5,276	決算額	4,939	財 源 内 訳			
				特定財源	4,500	一般財源	439
【1. 事業の目的】(単位：千円)							
「離島」というハンディキャップの解消を図り、子どもたちのより活発な活動を促進していくことを目的とし、島外遠征に係る渡航費用を助成します。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業							
交付決定者数（延べ人数）：1,787人							
交付決定者数の過去3年間の推移〔単位：人〕				交付金額総計の過去3年間の推移〔単位：円〕			
	R2	R3	R4		R2	R3	R4
小学生	474	815	1,056	合 計	2,068,230	2,571,332	4,939,190
中学生	334	296	490				
指導者			241				
合 計	808	1,111	1,787				
【補助対象】							
島外で開催される大会（全国規模の大会を除く。）、交流・練習試合などの島外遠征に係る渡航費							
【補助金額】							
航路旅客運賃助成事業補助金を適用し隠岐航路（往復）運賃の実費を助成							
小学生（西郷～本土間）3,020円以内							
（西郷～島前間）1,980円以内							
中学生（西郷～本土間）6,040円以内							
（西郷～島前間）3,940円以内							
							
サッカーチームの活動				バスケットボールチームの活動			
【3. 事業の成果及び課題】							
（1）事業の成果							
令和4年度から新たに指導者の渡航費を補助対象とし、児童生徒の一層の活動機会の充実を図りました。利用人数や補助交付額は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向にありましたが、令和4年度には大幅に増加しました。活動内容では、大会だけでなく、合同練習など、本土での活動の幅が広がっており、町内の小・中学生のより活発な体育活動や文化活動を促進することができました。							
（2）今後の課題							
令和4年度からは新たに指導者の渡航費補助を実施していますが、団体毎に遠征回数等に違いがあるため、不公平感が無いよう、今後も事業の実施状況を確認し、状況に応じて制度の見直しを検討することが必要となっています。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 14
事業名		がんばれ島のキッズ島外遠征費補助事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 子どもたちが幅広い経験を積み、視野を広げるためには非常に意義のある事業であると評価でき、離島であるからこそ、今後も本事業の継続実施を望む。 ○ ボランティアで指導に携わっている指導者への渡航費の補助が令和4年度からスタートしたことは、子どもたちの活発な活動促進が期待され評価する。 ○ 本事業について、子どもたちにも知ってもらうことで、意欲の向上や社会勉強に結びつくことが期待されるので、子どもたちへの周知の方法について検討を要する。 ○ スポーツ活動以外の文化・芸術活動にも適用可能であるが認知されていないことが懸念されるため周知する必要性があり、その周知先・方法等について検討を要する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 離島であるがために子どもたちの活動の機会が少なくなることなく、多くの経験を積むための意義のある事業であり、継続した事業の実施に期待する。 ○ 現行の助成金制度で多くの子どもたちの遠征参加が可能となっており、スポーツや文化活動が活発化され評価する。 ○ 町内に他の地域の団体を招き合宿や大会を行う場合に、その団体への助成についての検討を望む。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 15
事業名	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業					社会教育課	
予算額	3,309	決算額	3,027	財 源 内 訳			
				特定財源	2,017	一般財源	1,010

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 地域と学校と家庭が連携・協働して、子どもたちの社会性や自主性、創造性等の豊かな人間性を育てます。

【2. 主な事業の概要（実績）】
 結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業
 運営委員会（委員報償費・費用弁償等） 38 千円
 放課後子ども教室 2,156 千円
 放課後サポーターを配置し放課後の子どもの居場所の確保
 学校支援事業（地域コーディネーター活用事業謝金） 803 千円
 家庭教育支援事業 30 千円
 小中学校入学前に「親学講座」を実施

令和4年度 放課後子ども教室実施状況

地 区	教 室 名	開催日	開 催 場 所	開催日数	参加児童 (延べ人数)	安全管理員 (延べ人数)	登録 児童数
西郷	いきいき子ども教室	月	総合体育館	27	720	6	84
中条	中条遊びランド	月	中条小学校	29	1,141	5	52
有木	まにの広場	月・金	有木小学校	54	834	4	29
磯	にこにこ広場	火	磯小学校	31	299	4	22
北	きたっこ広場	月	北小学校・布施公民館	34	287	15	16
五箇	学センわくわく広場	月・水	五箇生涯学習センター	41	763	7	55
都万	遊びと学びの広場	月・木	都万小学校・都万公民館	32	770	8	37
合 計				248	4,814	49	295

【活動写真】 ※登録人数は、令和4年度最終日時点のもの



有木まにの広場 クリスマス飾りづくり



五箇保育所・小・中PTA親楽プログラム

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
 地域・学校・家庭の連携協働を図り、地域総がかりで子ども達を育成する環境の構築を図っています。放課後子ども教室では、地域のサポーターを活用し、子どもたちが放課後に学習や体験活動を行うなど安心・安全に過ごせる居場所づくりとして成果をあげています。また、学校支援事業では、学校サポーターによる授業支援により教育活動の推進が図られました。

(2) 今後の課題
 子どもの体験活動における指導者や放課後サポーターなど地域人材の確保と育成が必要となっており、令和5年度から人材確保のため報償費の増額を行っています。また、学校と地域をつなげる取組をコーディネーターと学校担当者が一緒になって取り組むよう働きかけの強化が必要となっています。

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育総務費	所管課	No. 15
事業名	結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業					社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】							
(1) 評価の概要							
○ 放課後子ども教室は、スクールバスで通学している児童のうち、保護者が迎えに行けない家庭は利用が出来ない状況であり、交通手段の確保や支援について検討を要する。							
○ 放課後子ども教室の開催日を増やす、時間を柔軟に設定するなど、引き続き改善に取り組んでほしい。							
○ 放課後子ども教室の安全管理員は、その小学校を応援している人と解釈される。応援される学校づくり、安全管理員がやりがいを感じられるよう活動の充実に期待する。							
○ 放課後子ども教室の安全管理員が従事しやすい環境づくりのために、教育委員会・学校・安全管理員の連絡会により引き続き連携を密にする取組に期待する。							
○ P T Aの研修会が縮小し続けているなかで、親が親のことを研修する機会として、家庭教育支援事業の「親楽講座」は非常に有意義と評価する。							
○ 親楽講座は入学説明会の時に実施するなど開催日の設定に工夫が見られる。開催回数を増やし、また内容が充実していくことに期待する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】							
○ 保護者や児童のニーズに沿う活動を行うためにも、地域のサポーターの確保に努める必要がある。							
○ 有木小学校と隠岐高校が連携して行っている「放課後先生」のように、サポーターとして高校生が関わる取組の検討を期待する。							
○ すべての学校において、障がいのある児童も他の児童と同様に、交通面などを含めて無条件で利用できる制度にするために、保健福祉課との連携が必要と考える。							
○ 放課後子ども教室の開催日を増やすとともに、障がいのある児童も他の児童と同様に、交通面などを含めて無条件で利用できる取組とするために保健福祉課との連携を図り事業が充実されることを望む。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育施設費	所管課	No. 16
事業名	隠岐島文化会館管理運営事業					社会教育課	
予算額	24,131	決算額	24,130	財 源 内 訳			
				特定財源	3,610	一般財源	20,520

【1. 事業の目的】 (単位：千円)
 隠岐島文化会館を適正に管理運営し、多様で質の高い町民の芸術文化活動の環境をつくります。

【2. 主な事業の概要（実績）】

●指定管理料 20,054 千円
 隠岐島文化会館の管理運営を指定管理者である(公財)隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。

《施設の利用状況》 [単位：人]

年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
延べ人数	36,282	33,926	30,479	19,769	18,537	23,644

指定管理者による主な実施事業 (隠岐の島町教育文化振興財団)

○鑑賞事業

- ・映画上映 (4作品 延15回) 入場者数：延べ1,152人
- ・宝くじ文化公演 入場者数：396人
 (オーケストラと合唱で奏でる名曲歌酔いコンサート)
- ・児童生徒向け劇場 (劇団あしぶえ) 入場者数：505人

○育成事業

- ・青少年人材育成事業
 大ホール事業に対するボランティアスタッフの育成

○芸術文化支援事業

- ・芸術文化支援事業
 大ホールを利用した事業の支援 (23回)

○地域活性化事業

- ・おきゼミ (講演会1回)
- ・文芸隠岐発刊事業
- ・文化祭/文化グループ発表会
- ・町民なんでも発表会
- ・夏、冬休み体験事業
- ・島根県公立文化施設協力事業(2回) 入場者数：延べ200人
 (益田糸操り人形・琵琶で旅する耳感旅行)
- ・定期利用活性化事業 (将棋体験会)

○展示・文化情報提供事業

●隠岐島文化会館大ホール照明設備改修工事 3,630 千円
 舞台照明機器のLED化及び配線の取替

●修繕費 (保養室畳張替215千円・空調設備集中監視盤231千円) 446 千円

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果
 指定管理者の実施事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、利用数も減少傾向にありましたが、令和4年度には、利用者も増加し、本町の芸術・文化の核となる施設として、町民から利活用されています。また、令和3年度から実施しました、大ホール照明のLED化工事が完了し、舞台芸術における利用者の表現の幅が広がるとともに節電効果も期待できることとなりました。

(2) 今後の課題
 経年劣化および機材の更新等、施設の老朽化が進んでおり、令和4年度に策定した社会教育施設長寿命化計画を踏まえた、計画的な修繕が必要となっています。また、更なる文化芸術活動の推進に向け、指定管理者との連携強化を図る必要があります。

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 1	社会教育施設費	所管課	No. 16
事業名		隠岐島文化会館管理運営事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 令和4年度は未だコロナ禍であったなかで、利用者が増加していることは指定管理者の隠岐の島町文化振興財団の事業が魅力的なものであったためと捉えられ評価する。 ○ 今後も町民のニーズに合った実施事業が企画され、内容が益々充実することに期待する。 ○ 利用希望者のWeb予約や予約状況の確認について、利用者の利便性向上のために引き続きの検討に期待する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 映画やコンサートなど工夫された企画が様々に行われており評価する。 ○ 町民の文化芸術活動の普及や推進において、隠岐島文化会館は大きな役割を担っている。本町の文化的環境がより豊かなものになるように引き続き、魅力的な事業展開に期待する。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	保健体育費	目 1	保健体育総務費	所管課	No. 17
事業名	保健体育活動補助事業					社会教育課	
予算額	4,119	決算額	2,946	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	2,946
【1. 事業の目的】							(単位：千円)
社会体育活動の推進、活性化を図るため、関係団体への補助金交付等の支援を行います。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●隠岐の島町体育協会補助金				2,835 千円			
10競技、4地区体協へ補助金交付							
●隠岐の島町スポーツ少年団活動費補助金				55 千円			
●隠岐郡陸上競技協会法令外負担金				56 千円			
[隠岐の島町体育協会活動写真]							
							
全隠岐駅伝競走大会							
							
親子交流イベントスポーツリズムトレーニング							
							
隠岐の島町ターゲットバードゴルフ大会							
							
隠岐の島町卓球選手権大会							
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
隠岐の島町体育協会補助金交付により、町内スポーツ競技団体による大会の他、各地区体協の活動が実施されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、団体競技や選手間の接触がある競技など一部中止となった大会もありましたが、町民のスポーツ活動の推進が図られました。							
(2) 今後の課題							
新型コロナウイルス感染症の影響で競技者の減少や大会が中止となった競技について支援する為、隠岐の島町体育協会等の各団体との一層の連携強化が必要となっています。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	保健体育費	目 1	保健体育総務費	所管課	No. 17
事業名		保健体育活動補助事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 町内スポーツ競技団体による大会の結果をホームページに掲載するなど情報公開に努めており、スポーツ振興のためには効果的であり評価する。 ○ 各競技団体や地区体育協会への補助金は、運営に限らず競技備品や新型コロナウイルス感染症対策用品の購入に活用され、社会体育の振興に役立っている。 ○ 体育協会の事務移管によって、各競技団体の負担は増えたと思うが、自立性を高めて各スポーツの振興が図られることを期待する。 ○ コロナ禍の影響により競技によっては参加人数が大幅に減少したものも見受けられ、コロナ前の状況に戻す取組に期待する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 事務評価委員会と同意見							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 18
事業名	総合運動公園管理運営事業					社会教育課	
予算額	28,058	決算額	28,002	財 源 内 訳			
				特定財源	2,800	一般財源	25,202
【1. 事業の目的】(単位：千円) 総合運動公園及び総合体育館を適正に管理運営し、町民の健康増進、スポーツの活性化を図るための環境をつくります。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●指定管理料				24,237 千円			
総合運動公園及び総合体育館の管理運営を指定管理者である(公財)隠岐の島町教育文化振興財団が行いました。							
《施設の利用状況》							
隠岐の島町総合運動公園				〔単位：人〕			
年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
延べ人数	4,898	5,150	3,890	4,301	4,616	5,682	
隠岐の島町総合体育館				〔単位：人〕			
年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
延べ人数	31,325	34,224	30,569	24,850	29,858	19,446	
指定管理者による主な実施事業 (隠岐の島町教育文化振興財団)							
○スポーツ・体育活動支援事業							
・レインボーアリーナ杯（スポンジテニス・ソフトバレーボール大会開催）							
○地域活性化事業							
・スポーツ教室（7種目10教室）		参加者数：延べ3,389人					
・夏・冬休み複合型子ども教室		参加者数：114人					
・開放事業レインボーアリーナの日		参加者数：120人					
・ニュースポーツ体験会（3地区）		参加者数：57人					
							
				開放事業レインボーアリーナの日			
●トレーニング室空調設備更新工事				2,805 千円			
●修繕費（空調ポンプ280千円・送風機取替270千円・入口看板66千円）				616 千円			
●備品購入費（吸水ローラー・グラウンド均し）				325 千円			
●管理運営委員会開催費				19 千円			
【3. 事業の成果及び課題】							
（1）事業の成果							
本町の社会体育、生涯スポーツの拠点施設として様々な団体に利活用されています。さらに、指定管理者による様々な体験教室なども実施され、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数も改善傾向にあります。また、設備改修により安全で快適な施設環境を利用者に提供することができました。							
（2）今後の課題							
生涯スポーツ推進のため、指定管理者等とより一層連携を密にし、様々な世代におけるスポーツ人口の拡大に取り組んでいくことが必要となっています。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 18
事業名		総合運動公園管理運営事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 運動公園や総合体育館は様々なスポーツ活動の場所として多くの町民に親しまれ、利活用されており町民の健康体力づくりに貢献している。 ○ 総合体育館は令和4年度に照明がLEDに改修され、利用料が減額されたので、ますます利用者が増加することに期待する。 ○ 利用希望者のWeb予約や予約状況の確認について、利用者の利便性向上のために引き続きの検討に期待する。 ○ 実施事業が企画立案の段階から教育委員会と指定管理者が情報を共有し、連携が強化された実施体制で実施され、さらに充実したものとなることを期待する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 事務評価委員会と同意見							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 19
事業名	温水プール管理運営事業					社会教育課	
予算額	46,362	決算額	45,928	財 源 内 訳			
				特定財源	27,224	一般財源	18,704
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 屋内温水プールを適正に管理運営し、体育及びレクリエーションの普及並びにその振興を図り、町民の健康増進を図ります。							
【2. 主な事業の概要（実績）】 ●指定管理料 15,709 千円 隠岐の島町屋内温水プールの管理運営を指定管理者である(株)MIしまねが行いました。							
《施設の利用状況》 [単位：人]							
年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
ビジター利用	4,240	4,492	4,570	2,672	3,181	3,361	
会員利用	29,155	35,591	35,821	29,979	33,939	32,407	
教育機関利用	1,512	1,466	1,455	1,170	962	1,680	
その他利用	944	913	1,152	457	576	483	
合計	35,851	42,462	42,998	34,278	38,658	37,931	
指定管理者による主な実施事業 (MIしまね) ○利用者拡大事業							
・スポーツクラブレッスン ごきげん全身体操、おまかせ水中運動、ゴロ寝ストレッチ、やさしい水泳教室等							
・ジュニアレッスン 幼児期からの水泳教室							
・水泳競技大会参加 水泳競技の全国大会や島根県大会に向けた競技力向上指導及び大会への参加支援							
 ジュニアレッスン							
●工事費							
・温水プールチラー更新工事 26,960 千円							
・温水プールチラー更新工事設計業務委託 408 千円							
・気中開閉器・高圧ケーブル更新工事 1,815 千円							
・監視カメラ更新工事 495 千円							
・2階ロビー空調等更新工事 347 千円							
●修繕費（セコム機器更新91千円・網戸修繕19千円） 110 千円							
●管理運営委員会開催費 84 千円							
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果 本町の健康増進の中核施設のひとつとして幅広い年齢層に活用されています。新型コロナウイルス感染症により令和2年度から利用者数が減少しましたが、指定管理者の創意工夫によるスタジオを活用した独自事業等により、改善傾向にあります。また、設備改修により安全で快適な施設環境を利用者に提供することができました。							
(2) 今後の課題 令和4年度に策定した社会教育施設長寿命化計画を踏まえた、計画的な修繕を行うとともに、指定管理者とより一層連携を密にし、利用者の拡大に取り組んでいくことが必要となっています。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	保健体育費	目 2	体育施設費	所管課	No. 19
事業名		温水プール管理運営事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 多くの町民に親しまれ、利活用されており町民の健康体力づくりに貢献している。 ○ 施設を十分に活用した水泳教室やスポーツクラブレッスンなどが創意工夫のうえで企画実施されるなど、利用者の増加に向けた取組について評価する。 ○ 学校の水泳授業の受入について、どの学校も平等に利用できるように日程調整を行い、またレーンを分ける、休館日に行うなど一般利用者に配慮した対応を行っており、運営の工夫を評価する。 ○ コロナ禍とはいえ、利用者が大きく減少してなく、指定管理者の㈱M I しまねの努力を高く評価する。 ○ 町内唯一の温水プールであり、貴重な施設であるので、引き続き施設の適切な管理に努め、計画的な修繕・改修を望む。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 事務評価委員会と同意見							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 20
事業名	図書館管理運営事業					社会教育課	
予算額	70,549	決算額	68,449	財 源 内 訳			
				特定財源	37,939	一般財源	30,510
【1. 事業の目的】(単位：千円)							
住民の知る権利や学習の権利を保障する学びの場として、図書館機能の充実を目指します。生涯学習の拠点施設として、資料の充実に努めるとともに、学校や公民館など関係機関と連携を図り、住民の読書環境の整備を進めていきます。隠岐の島町図書館振興計画の数値目標に基づき、蔵書等の整備を進めます。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●図書館施設整備事業				38,122千円			
空調ファンコイルユニット更新工事				34,650千円			
屋外冷温水配管修繕工事				1,316千円			
開閉窓修繕工事				2,156千円			
●図書館資料費				6,970千円			
[資料費内訳] 書籍、雑誌、新聞				5,772千円			
視聴覚資料(CD、DVD)				1,198千円			
●図書館運営委員会開催費							
運営委員会の開催（6/21, 11/25）委員10名				58千円			
●図書館管理運営費				23,299千円			
会計年度任用職員人件費				10,773千円			
図書システム関連経費（リース、保守点検）				3,583千円			
施設維持管理各種業務委託費（空調、電気、消防、清掃、警備）				3,522千円			
光熱水費（電気、水道、ガス、ペレット）				3,565千円			
その他事務経費等				1,856千円			
・年間入館者数 46,365人（前年比+660人）							
・年間貸出冊数 56,241冊（前年比-8,571冊）							
							
あさとしょ(民間事業者とのコラボ)		各種講演会		各種特集・展示企画			
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
「隠岐の島町図書館振興計画」の数値目標に基づき、計画的に蔵書等の整備を行いました。コロナ禍においても各種行事や展示の企画等により入館者数は増加に転じています。施設面においては、空調設備の大規模改修を令和4年度に実施し、快適な環境の提供を可能にしました。令和4年度から運営主体を町直営とし、町各部局と連携を密にして事業に取り組むことができました。							
(2) 今後の課題							
入館者数は増加傾向にありますが、貸出冊数は前年比13%減少しました。コロナ禍におけるデジタルコンテンツの急速な普及等の影響も考えられますが、今後は蔵書構成の検討や啓発活動など貸出増に向けた対策を講じる必要があります。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 3	社会教育施設費	所管課	No. 20
事業名		図書館管理運営事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 講演会などの各種行事や特集・展示を創意工夫により行っており、入館したくなる取組について評価する。 ○ 落ち着いた温かい雰囲気づくりに努め、静かで快適な図書館運営がされており評価するとともに、引き続き適切な管理運営に努めてほしい。 ○ 図書館の専門員による学校司書への助言や学校司書との連携を強化し、学校図書の充実を目指した取組推進に期待する。 ○ 年間貸出冊数は前年比で減少はしているが、貸出冊数の減少にとらわれることなく、引き続き多くの町民が集まる図書館となるための創意工夫を望む。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 講演会や展示など工夫された取組が魅力的であり評価する。特に民間との提携による取組などは新たな可能性を感じられ非常に期待できる。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 21
事業名	文化財保存継承事業					社会教育課	
予算額	14,603	決算額	13,613	財 源 内 訳			
				特定財源	6,849	一般財源	6,764
【1. 事業の目的】(単位：千円)							
文化財の保存及び活用のために必要な措置を講じることにより、町民の郷土に対する認識を深め、文化の向上に資することを目的とします。							
【2. 主な事業の概要（実績）】							
●牛突き習俗保存対策事業				6,738千円			
・突き牛導入費補助金（13件）				5,108千円（導入費の2/3、上限なし）			
・突き牛処分費補助金（15件）				1,050千円（処分1頭につき、7万円）			
・大会出場費補助金（58件）				580千円（出場牛1頭につき、1万円）			
●無形民俗文化財補助金交付事業				2,452千円			
町内の指定無形民俗文化財保持団体に年間活動費のうち対象経費の1/2を補助しました。 (交付実績：18団体内12団体)							
●史跡隠岐国分寺保存活用計画策定事業				1,900千円			
史跡隠岐国分寺境内の保存活用計画を策定するため、策定委員会を2回開催しました。							
●国府尾城活用整備事業				1,046千円			
国府尾城を現地調査し活用整備についての検討を行いました。併せて、周辺の雑木を伐採し眺望を確保しました。							
●「隠岐の文化財」発刊事業				813千円			
・隠岐4町村の教育委員会合同で「隠岐の文化財」第40号を発刊しました。							
●指定文化財説明看板設置事業				596千円			
・町内指定文化財の説明看板を計画的に新設・更新します（英語解説併記）。 【R4に看板の新設・更新を行った文化財】 犬来のシイ、嶽山のイスノキ、御碕神社宇屋だんじり舞風流・御碕神社の森、山田客祭風流							
●その他事務費等				68千円			
							
指定文化財の説明看板設置		国府尾城跡からの眺望		国府尾城跡からの眺望			
【3. 事業の成果及び課題】							
(1) 事業の成果							
無形民俗文化財を中心とした指定文化財に対し補助金を交付することにより、文化財の保存継承を支援しています。							
2件の遺跡（国府尾城跡、隠岐国分寺境内）について、その保存と活用の方法を検討しました。また、講演会を開催するなど埋蔵文化財の魅力を伝える取組を行うことができました。							
(2) 今後の課題							
無形民俗文化財は人手不足や後継者不足からその存続が危ぶまれています。今一度それぞれの文化財の現状を把握し、保存継承のための施策を検討しなければなりません。							
今後も埋蔵文化財の調査・整備を進め、文化財的価値と魅力の向上を目指します。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 21
事業名		文化財保存継承事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 無形民俗文化財補助金は地域の民俗や地域特有の文化の継承にとって必要な補助金であり評価され、今後の事業継続を望む。 ○ 一方で無形民俗文化財の後継者不足は喫緊の課題であり、それぞれで工夫は見られるものの、保存継承のために補助金交付だけではなく効果的な施策の検討を要する。 ○ 突き牛育成や後継者の問題もあって牛突きについても厳しい運営をされていると見受けられるが、牛突き習俗は本町の貴重で歴史的な遺産であるとともに重要な観光資源でもあるため、効果的な支援に期待する。 ○ 指定はされていないものの地域に根付いた文化の継承も必要であり、学校の授業や放課後子ども教室、公民館事業で引き続き取り組んでいくことに期待する。 ○ 文化財の継承は、一度途絶えると再開することには相当の労力を要するので、縮小しながらでも何とか継続していくことも必要と考える。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 文化財の価値について、学校でのふるさと学習を推進するとともに、一般町民の学習も促進する必要がある。 ○ 観光資源が少ない本町にとって歴史や文化財が重要であり、その保存や管理を適切に行うことが必要だと考える。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 22
事業名	佐々木家住宅管理運営事業					社会教育課	
予算額	24,742	決算額	24,688	財 源 内 訳			
				特定財源	23,564	一般財源	1,124
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 国指定重要文化財建造物佐々木家住宅を適正に保存管理し、且つ有効活用を図り、町民等の文化的向上に資することを目的とします。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ●管理運営事業 1,087千円 例年は年間通して公開(12～3月は休館)していますが、保存修理工事のため9月まで閉館としました。 ・管理清掃費（100日）受託者：3名 659千円 ・光熱水費・設備維持費 他 428千円 - 年間入館者数：385人（前年比▲131人） - 年間入館料：115千円（前年比▲34千円） ●保存修理事業（R3～R4 国庫補助事業） 23,544千円 前回、平成13年の解体修理工事から約20年が経過したため、古くなった屋根の杉皮を葺き替え、耐震のための補強工事を行いました。 ・保存修理工事一式（杉皮屋根葺替、耐震補強など） 21,263千円 ・設計監理委託料 2,184千円 ・文化庁調査官視察旅費 97千円 ●活用事業 57千円 保存修理事業を終え、改めて佐々木家住宅について周知を行うため、イベントを開催しました。 ①保存修理工事完成記念イベント（11/19） 隠岐高校吹奏楽部による演奏、和菓子の販売、地元有志による住宅内の装飾を行いました。 ②近世隠岐「ハレの日の食事体験」（11/27） 今後の佐々木家住宅の活用方法を検討するため、億岐家の古文書から祭礼時の食事を再現し、関係者で試食会を行いました。							
  							
保存修理後の佐々木家住宅 保存修理工事完成記念イベント 近世隠岐「ハレの日の食事体験」							
【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 定期的な保存修理工事を行うことにより、佐々木家住宅を適切に保存・管理しています。文化財の活用が強く求められる中、佐々木家住宅においても活用事業に取り組み、今後の活用方法について一定の方向性を見出すことができました。 (2) 今後の課題 保存修理には多額の経費がかかります。保存修理事業の成果として、より多くの人が訪れ隠岐の島町の貴重な文化財に触れる機会を増やすため、これまで以上に活用事業に取り組む必要があります。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 4	文化財保護費	所管課	No. 22
事業名		佐々木家住宅管理運営事業				社会教育課	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 佐々木家住宅は、隠岐独特の建築様式が見られ、生活用具など民俗資料も多く、保存していくことは非常に重要であり、引き続き適切に保存・管理していく必要がある。 ○ 保存修理に多額の経費がかかっているため、より多くの人が訪れるために創意工夫した取組が必要である。 ○ 住宅を見るだけでは再訪者は期待できにくく、喫茶や季節ごとの食事の提供など付加価値が必要であり、目玉となる取組の検討を要する。 ○ 学校教育で昔の暮らしを学ぶために活用することは、子どもたちへの教育的効果が期待できるので、子どもたちが興味を引く手法と内容を検討のうえで実施されることに期待する。 ○ 町民に文化財的価値があまり認識されていないものと推測され、広く周知されることを望む。 ○ 町民・観光客の多くの方に情報発信をする必要があり、現代社会ではWebを活用することは必須であり、利用希望者の利便性向上のために積極的な検討を要する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 趣のある建造物を用いて、島の歴史や風流を楽しむ企画は、文化財に興味を持っていただくきっかけとしてよい取組であり評価する。佐々木家住宅以外の文化財でもこうした取組が広がっていくことに期待する。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 23
事業名	公民館活動振興事業(1/4) -中央公民館-					中央公民館	
予算額	1,638	決算額	1,055	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	1,055
【1. 事業の目的】 (単位：千円) 公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。 【2. 主な事業の概要（実績）】 ●西郷文化祭 決算額 10千円  ・西郷文化祭を教育文化振興財団との協働で4年ぶりに開催しました。 ●まちづくり活動推進費 決算額 500千円  ・隠岐の島町まちづくり運動協議会へ活動費を支援しました。 ・生活環境、ひとづくりの2部会で活動をしています。 関係団体によるパネル展示やエコ活動、古い傘を利用したエコバック作り、水産高校かなぎ漁体験、島前地区の方々の漂着物アート展示など環境問題を考える良い機会となりました。 ●中央公民館活動費 (夏休み子ども工作教室) 決算額 545千円  ・青少年、家庭教育など各方面の講座や事業を実施しました。 ・コロナの影響もあり、公民館講座「隠岐養護学校ボッチャ講習会」「夏休み子ども工作教室」「香りで楽しむアロマ講座」の3講座の開催しか行わなかった。高齢者学級「あけぼの教室」については、年間10回開催しました。 ・放課後子ども教室は、公民館が西郷小学校、磯小学校を担当し、実施しました。 ・グラウンドゴルフ一式物品購入 (教育長杯グラウンドゴルフ) (あけぼの教室) (放課後子ども教室)    【3. 事業の成果及び課題】 (1) 事業の成果 分館連絡会議はコロナ感染拡大防止のため、説明会を開催出来なかった。コロナ禍といえ、公民館講座として、3講座しかできなかったことは、反省すべき点であります。中でも、高齢者学級「あけぼの教室」「放課後子ども教室」は、年間を通して活動ができました。 (2) 今後の課題 高齢化が進む中、高齢者の社会活動へ参加の持続と併せ、青壮年をはじめとする次世代の参加意欲を如何に醸成するかが必要と考えます。 【4. 事務評価委員会の評価 ※】							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 23
事業名		公民館活動振興事業(1/4) -中央公民館-				中央公民館	
(1) 評価の概要 ○ 住民の様々なニーズをとらえながら講座の内容を工夫し、実施回数を増やすなど活動の充実を望む。 ○ 餅つきやしめ飾りづくりなどの伝統文化が失われつつあり、伝統文化の継承を観点に入れた活動に期待する。 ○ 高齢者の趣味や志向が多様化し、また老人会が縮小していくなか、高齢者の学習や体験の様々なニーズに対応した企画が実施されることに期待する。 ○ 高齢者の公民館活動が充実することが、町内のデイサービスなど高齢者の福祉関連施設のひっ迫を解消する一助となることも可能性があるのでは意識した取組を望む。 ○ 障がいのある方でも参加しやすい事業の実施や、参加する時の支援の仕方などの工夫に期待する。 ○ 布施公民館などの地区公民館に比べ、中央公民館は地域の特性が見出しにくいと推測されるが、人が多いことが特性とは考えられるので、人が多いから出来る活動の企画立案に期待する。 ○ 公民館活動の活性化の鍵となる多様な住民がいるが、それをまとめる人が存在しにくいことが課題として考えられ、解決するための中央公民館の役割について検討を要する。 ○ 広報紙（公民館ニュース）、町内放送、ホームページで情報発信をしてはいるが、届けたい人にしっかりと届いているかが疑問が残る、効果的な情報発信の方法について検討を要する。 ○ 公民館は住民にとって最も身近な学習拠点であるとともに、地域の交流拠点の場として重要な役割を果たす必要があり、今後も取組が充実されることに期待する。 ○ 社会教育の推進のために公民館の役割は非常に重要であり、地区公民館だけでなく地域にある分館の公民館事業の活性化のために中央公民館の機能を充実させる体制や仕組、取組について検討を要する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 「郷土を愛する人材育成」のためには、隠岐の歴史や文化がこれからのまちづくりの決め手になることを踏まえ、取組を行っていくことが重要と考える。 ○ 社会教育は、住民のニーズに応えるだけでなく、人権、環境、高齢化社会、情報化社会など現代的課題の学習を基本にまちづくりに貢献する営みでもあるから、特にそうした学習の場を分館とともにつくっていく必要がある。 ○ 教育委員会は各学校や分館における学習のための地域講師のリストを作成するべきであり、中核となる4つの公民館は、これを分館と共有して活用するべきと考える。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 24
事業名	公民館活動振興事業(2/4) -布施公民館-					布施公民館	
予算額	973	決算額	887	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	887

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティー活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 布施地区館活動費 決算額 776 千円
 - ・コロナ禍で活動に制約がある中、他館とも連携の上、活動の仕方を模索しながら、各種講座・教室、立志式、その他活動を行いました。
 - ・学校支援地域本部事業、放課後こども教室など、公民館が実働となって実施しました。



室内グラウンドゴルフ体験会



しめ飾り



立志式

- まちづくり活動推進費 決算額 20千円
 - ・まちづくり活動推進に寄与する花いっぱい運動への助成を行いました。
 - ※浄土ヶ浦祭はコロナ禍により中止



花いっぱい運動



とんど焼き



布施手づくり作品展

- ふるさと自然体験活動費 決算額 91千円
 - ・地域のボランティアの方と北小学校のサマー合宿へ活動支援を行いました。



サマー合宿

図書購入費等 50千円

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

各分館活動では、分館長会議を開催することはできなかったが、個別に活動内容や地域課題について話し合い、活動に活かすことができました。各種講座の開催については、コロナ禍ではあるが、感染防止対策を配慮し開催することができ、地域との連携を図る事が出来ました。文化祭は共催の浄土ヶ浦祭は中止となったが、布施手づくり文化祭に各種団体の作品を展示することで地域からの情報発信を行うことができ、他地域からも多数の方に来場していただくことができました。北小のサマー合宿については、コロナ禍により地域との交流を図ることは控え目となったが、布施地域での自然体験により、児童の郷土愛の醸成を図ることができ、地域の活性化にも寄与することができました。

(2) 今後の課題

高齢化が進む中、高齢者の社会活動へ参加の持続と併せ、青壮年をはじめとする次世代の参加意欲を如何に醸成するかが必要と考えます。

【4. 事務評価委員会の評価 ※】

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 24
事業名	公民館活動振興事業 (2/4) -布施公民館-					布施公民館	
(1) 評価の概要 ○ 地区住民の声を吸収し、様々な活動を展開しており評価する。 ○ 餅つきやしめ飾りづくりなどの伝統文化が失われつつあり、伝統文化の継承を観点に入れた活動に期待する。 ○ 伝統ある立志式を長年にかけて継続して実施しており評価するとともに、地域の一員であることを自覚する貴重な事業であり今後の継続実施に期待する。 ○ 学校教員が地域の人との関係が希薄になるなかで、サマーキャンプなどの企画実施に公民館が加わることで、地域と学校が繋がることとなり、教育的な意義があり効果は大きく評価する。 ○ 高齢者の趣味や志向が多様化し、また老人会が縮小していくなか、高齢者の学習や体験の様々なニーズに対応した企画が実施されることに期待する。 ○ 高齢者の公民館活動が充実することが、町内のデイサービスなど高齢者の福祉関連施設のひっ迫を解消する一助となることも可能性があるので意識した取組を望む。 ○ 中地区の公民館活動を推進するため、布施公民館に指導員を配置したことを評価するとともに、今後の取組充実に期待する。 ○ 障がいのある方でも参加しやすい事業の実施や、参加する時の支援の仕方などの工夫に期待する。 ○ 広報紙（公民館ニュース）、町内放送、ホームページで情報発信をしてはいるが、届けたい人にしっかりと届いているかが疑問が残り、効果的な情報発信の方法について検討を要する。 ○ 公民館は住民にとって最も身近な学習拠点であるとともに、地域の交流拠点の場として重要な役割を果たす必要があり、今後も取組が充実されることに期待する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 「郷土を愛する人材育成」のためには、隠岐の歴史や文化がこれからのまちづくりの決め手になることを踏まえ、取組を行っていくことが重要と考える。 ○ 社会教育は、住民のニーズに応えるだけでなく、人権、環境、高齢化社会、情報化社会など現代的課題の学習を基本にまちづくりに貢献する営みでもあるから、特にそうした学習の場を分館とともにつくっていく必要がある。 ○ 教育委員会は各学校や分館における学習のための地域講師のリストを作成するべきであり、中核となる4つの公民館は、これを分館と共有して活用するべきと考える。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 25
事業名	公民館活動振興事業(3/4) -五箇公民館-					五箇生涯学習センター	
予算額	534	決算額	490	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	490

【事業の目的】

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティ活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【主な事業の概要（実績）】

●公民館分館活動費

決算額 0千円

- ・分館活動を支援しました。
- ・分館長会議を開き、分館補助金等について意見交換会を行いました。

●まちづくり活動推進費（冬期体力づくり教室）

決算額 300千円



- ・第55回冬期体力づくり教室（寒稽古）では、「冬の体力づくりを通して心と体を鍛えよう」を目標に実施し、心と体を鍛え、健康な体作り、元気なあいさつの向上に努めました。コロナ禍により日程が変則となり2日間の実施のみとなりました。

期間：令和5年1月15日、1月21日 早朝

種目：ジョギング、柔道、剣道、卓球、サッカーなど

●幸齢者ふるさと学園活動費

決算額 100千円



- ・高齢者講座は、幸齢者ふるさと学園と題し、実行委員会方式で計画、実施しました。
- ・町内在住の60歳以上の方対象に5回の教室を開催しました。
- ・「ジオパークスポット巡り」講座を開催し、地域を再認識することができました。

●公民館活動費



- ・各種公民館講座を開催した。又、毎年、図書の購入を行い住民の読書環境を整えるように努めました。

*その他経費

●図書購入費等 決算額 90千円

【3. 事業の成果及び課題】

（1）事業の成果

分館活動を促進するために、分館の支援を行いました。高齢者事業は、高齢者自身が計画した事業を実施しました。作品展示会を開催し、作品や活動の状況などをホール等に展示しました。また、町立図書館と連携し、県立図書の配本を図書室と五箇診療所及び久見診療所に配置し、利用される方の利便性向上を図っています。

（2）今後の課題

高齢化が進む中、高齢者の社会活動へ参加の持続と併せ、青壮年をはじめとする次世代の参加意欲を如何に醸成するかが必要と考えます。

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 25
事業名		公民館活動振興事業(3/4) -五箇公民館-				五箇生涯学習センター	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】 (1) 評価の概要 ○ 冬期体力づくり教室（寒稽古）は、50年以上実施し続け、地域の伝統行事になっており、体力づくりだけでなく、食育、地域間交流、郷土愛育成など多くの効果があり、引き続き実施されることを望む。 ○ 寒稽古の指導者の育成を図り継続した実施を望むとともに、今後は内容や実施期間等がコロナ禍前の水準に戻っていくことに期待する。 ○ 餅つきやしめ飾りづくりなどの伝統文化が失われつつあり、伝統文化の継承を観点に入れた活動に期待する。 ○ 高齢者講座（幸齢者ふるさと学園）は、対象者を五箇地域在住の方に限定することなく、町内在住者としており、町全体を対象とした点について評価するとともに活動の充実に期待する。 ○ 高齢者の趣味や志向が多様化し、また老人会が縮小していくなか、高齢者の学習や体験の様々なニーズに対応した企画が実施されることに期待する。 ○ 高齢者の公民館活動が充実することが、町内のデイサービスなど高齢者の福祉関連施設のひっ迫を解消する一助となることも可能性があることで意識した取組を望む。 ○ 障がいのある方でも参加しやすい事業の実施や、参加する時の支援の仕方などの工夫に期待する。 ○ 広報紙（公民館ニュース）、町内放送、ホームページで情報発信をしてはいるが、届けたい人にしっかりと届いているかが疑問が残り、効果的な情報発信の方法について検討を要する。 ○ 公民館は住民にとって最も身近な学習拠点であるとともに、地域の交流拠点の場として重要な役割を果たす必要があり、今後も取組が充実されることに期待する。 【5. 教育委員会の意見 ※】 ○ 「郷土を愛する人材育成」のためには、隠岐の歴史や文化がこれからのまちづくりの決め手になることを踏まえ、取組を行っていくことが重要と考える。 ○ 社会教育は、住民のニーズに応えるだけでなく、人権、環境、高齢化社会、情報化社会など現代的課題の学習を基本にまちづくりに貢献する営みでもあるから、特にそうした学習の場を分館とともにつくっていく必要がある。 ○ 教育委員会は各学校や分館における学習のための地域講師のリストを作成するべきであり、中核となる4つの公民館は、これを分館と共有して活用するべきと考える。							

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 26
事業名	公民館活動振興事業(4/4) -都万公民館-					都万公民館	
予算額	1,154	決算額	671	財 源 内 訳			
				特定財源	0	一般財源	671

【1. 事業の目的】 (単位：千円)

公民館が社会教育機関として、多様な学習ニーズに応えながら、広く住民の学習やコミュニティー活動の場を提供し、親しまれる公民館として運営の充実、向上を図り「郷土を愛する人材育成」を目指します。

【2. 主な事業の概要（実績）】

- 都万青少年育成事業 決算額 0 千円
- 都万公民館活動費 決算額 671 千円



公民館講座 (アロマ教室)



体験教室 (竹細工教室)



体験教室 (梅収穫体験)



高齢者教室 (笑福館グランドゴルフ)



高齢者教室 笑福館 (島探検)



青少年育成会議
(平和と音楽と未来)



協働のまちづくり事業
(都万小学校デイキャンプ)



協働のまちづくり事業
(都万中学校デイキャンプ)

【3. 事業の成果及び課題】

(1) 事業の成果

都万高齢者教室「都万笑福館」は元気な高齢者が集う良い機会の提供ができました。今後も継続する予定です。

公民館講座はアロマ教室や竹細工教室など開催しました。地域で活動するグループと連携し、体験教室を開催しましたが、参加者が少なく、課題が残りました。

協働のまちづくり事業の採択を受け都万小、都万中のデイキャンプを開催しました。

(2) 今後の課題

高齢化が進む中、高齢者の社会活動へ参加の持続と併せ、青壮年をはじめとする次世代の参加意欲を如何に醸成するかが必要と考えます。

令和4年度事業 教育に関する事業の管理及び執行状況の点検・評価表

款10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	所管課	No. 26
事業名	公民館活動振興事業(4/4) -都万公民館-					都万公民館	
【4. 事務評価委員会の評価 ※】							
(1) 評価の概要							
○ 青少年育成会議は、子どもたちにとって、本物に触れる有意義な機会となっており、継続して実施されることに期待する。							
○ 小中学校のキャンプについて、デイキャンプになったことが残念ではあるが、子どもたちや学校が地域と繋がる良い機会であるので、継続した実施を望む。							
○ 餅つきやしめ飾りづくりなどの伝統文化が失われつつあり、伝統文化の継承を観点に入れた活動に期待する。							
○ 高齢者の趣味や志向が多様化し、また老人会が縮小していくなか、高齢者の学習や体験の様々なニーズに対応した企画が実施されることに期待する。							
○ 高齢者の公民館活動が充実することが、町内のデイサービスなど高齢者の福祉関連施設のひっ迫を解消する一助となることも可能性があるので意識した取組を望む。							
○ 障がいのある方でも参加しやすい事業の実施や、参加する時の支援の仕方などの工夫に期待する。							
○ 広報紙（公民館ニュース）、町内放送、ホームページで情報発信をしてはいるが、届けたい人にしっかりと届いているかが疑問が残る、効果的な情報発信の方法について検討を要する。							
○ 公民館は住民にとって最も身近な学習拠点であるとともに、地域の交流拠点の場として重要な役割を果たす必要があり、今後も取組が充実されることに期待する。							
【5. 教育委員会の意見 ※】							
○ 「郷土を愛する人材育成」のためには、隠岐の歴史や文化がこれからのまちづくりの決め手になることを踏まえ、取組を行っていくことが重要と考える。							
○ 社会教育は、住民のニーズに応えるだけでなく、人権、環境、高齢化社会、情報化社会など現代的課題の学習を基本にまちづくりに貢献する営みでもあるから、特にそうした学習の場を分館とともにつくっていく必要がある。							
○ 教育委員会は各学校や分館における学習のための地域講師のリストを作成するべきであり、中核となる4つの公民館は、これを分館と共有して活用するべきと考える。							